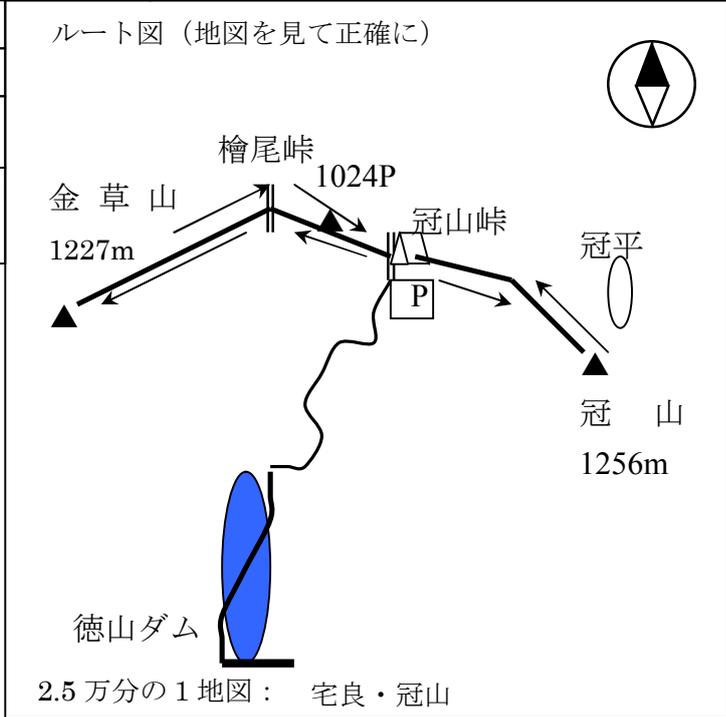


6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	中山 正夫
		報告日	6/10		
山 域	奥美濃	山行日	09年 6月 6日(土)～ 6月 7日(日)		
山 名	金草山・冠山				

山行目的	バイクで徳山ダム周辺の山を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者



6/6(土) 雨のち曇り
02:45 起床
03:15 自宅発 23号→22号
→21号→徳山ダム
06:55 冠山峠着
07:15 峠発
08:40～55 休憩
09:23 金草山頂上～:35
11:00～:10 休憩(1024ピ
ック)
11:25 冠山峠通過
12:40 冠山頂上～13:05
14:10 冠山峠着
14.30 テント設営
20:00 就寝
6/7(日) 霧雨
06:00 テント撤収～30 発
徳山会館→名神(一宮・岡
崎)自宅 10:10 着



〈山行報告〉6/6(土)3:10 合羽を着てバイクで自宅発、国道 23 号、22 号、21 号と走り徳山ダムを越え冠山峠へ駐輪 6:55。峠はガスの中で 1 台も車無し。7:15 発、峠から最初はトラバースぎみで 1024m の三角点のあるピークに登る。ここから最低鞍部まで樹林の中をかなり下る、鞍部からすこし登った所が檜尾峠だった。木から落ちる昨日の雨露が首から入りこみ服が濡れ冷たい。1 時間半歩いたところの笹原で休憩、ガスっているが、足元には、イワカガミが小さくピンク色がきれいだ。1100m くらいから、木の丈も低くなり、霧の中から、突然にコバイケイソウやニッコウキスゲがあらわれて、いい感じ。9:23 に金草山頂上着。笹原が 6 畳ほど平に切り払われている。ガスって何も見えないので、すぐ下山する。1024P で休憩して、冠山峠をそのまま通過し、即、冠山へ向かう。こちらの道は金草と違ってよく整備されており、1 時間ほどで、直下の岩場に出る。岩場は下山のもたつく若い女性 4 人パーティの通過をしばらく待ってから、三点支持で慎重に登る、頂上 12:40 着。10 人ぐらい食事中、宝塚からの 6 人と少し話する。関西からだ、福井側から来るみたいだ。岩場を楽しみながら下って、冠平で泊まるつもりが、遭難碑(1955)があるのを思い出し、冠山峠に変更する。

14:10 冠山峠着、車は 15 台程ありまた交通量もちらほらある(夜 0 台)。テントを張って寛いでいると、いろんなひとから声をかけられる。こんな所へひとりで泊まって、熊に襲われないかとの質問が、何回もある。翌朝は霧雨の中、撤収し、徳山会館見学の後、名神一宮から岡崎 IC 経由し自宅 AM10:10 着

〈リーダー所見〉静岡が雨のため、大無間山を中止し、計画を早めて奥美濃に来てみたが、以外に金草は高山植物は豊富な良い山だった。1 日にふたつの山を、休憩もあまり取らず、どこでも泊まれるようにフル装備で歩き通せたのは、春山合宿の感覚が残っていたのかとも思う。秋には、今度こそ大無間に行くぞ、自信はついたと思う。

地図見たら 金草冠二つとも
なんだか今日は 行けそうな気がする
あると思います

冠の岩場 三点支持で越す

ガスなれどコバイケイソウイワカガミ

沖仙

確認
(リーダー)
中
09/06/9
山
作成
(報告者)
中
09/06/10
山